

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 28 年 4 月 28 日 (2016.4.28)

【公開番号】特開 2014-185399 (P2014-185399A)

【公開日】平成 26 年 10 月 2 日 (2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報 2014-054

【出願番号】特願 2013-59361 (P2013-59361)

【国際特許分類】

D 0 6 P 1/44 (2006.01)

D 0 6 P 3/79 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

C 0 8 L 51/06 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 F 255/00 (2006.01)

C 0 8 J 7/04 (2006.01)

【 F I 】

D 0 6 P 1/44 J

D 0 6 P 3/79 A

D 0 6 P 5/00 D

C 0 8 L 51/06

C 0 8 L 23/00

C 0 8 F 255/00

C 0 8 J 7/04 C E S B

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 10 日 (2016.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリオレフィン (A)、不飽和 (ポリ) カルボン酸 (無水物) (B) および 1 個の重合性不飽和基を有する有機スルホン酸 (塩) (C) を構成単位とする共重合体 (X) を含有してなるポリオレフィン樹脂用染色性向上剤 (K)。

【請求項 2】

さらに、構成単位に脂肪族不飽和炭化水素 (E) を加えてなる請求項 1 記載の染色性向上剤。

【請求項 3】

(X) のスルホン酸 (塩) 基含量が、0.01 ~ 6 モル / kg である請求項 1 または 2 記載の染色性向上剤。

【請求項 4】

(X) が、(A) を幹、(B) および (C)、もしくは (B)、(C) および (E) の共重合体を枝とするグラフト共重合体である請求項 1 ~ 3 のいずれか記載の染色性向上剤。

【請求項 5】

ラジカル開始剤 (D) の存在下で、(A)、(B) および (C)、もしくは、(A)、

(B)、(C)および(E)を共重合させてなる請求項1～4のいずれか記載の染色性向上剤。

【請求項6】

(A)が、炭素数1,000個当たり0.1～20個の二重結合を有する請求項1～5のいずれか記載の染色性向上剤。

【請求項7】

(A)、(B)および(C)の合計重量に基づく含有量が、(A)が30～98%、(B)が0.03～50%、(C)が0.6～65%である請求項1～6のいずれか記載の染色性向上剤。

【請求項8】

(A)、(B)、(C)および(E)の合計重量に基づく(E)の含有量が、5～65%である請求項2～7のいずれか記載の染色性向上剤。

【請求項9】

請求項1～8のいずれか記載の染色性向上剤(K)およびポリオレフィン樹脂(F)を含有してなる可染性ポリオレフィン樹脂組成物。

【請求項10】

(K)と(F)の重量比が、0.1/99.9～50/50である請求項9記載の組成物。

【請求項11】

請求項9または10記載の組成物を成形した成形品。

【請求項12】

さらに、請求項11記載の成形品をカチオン染色した成形品。

【請求項13】

請求項11または12の成形品にさらに塗装および/または印刷を施してなる成形物品。